DOCUMENT-IDENTIFIER: JP <SPAN CLASS=... Page 1 of 1

PAT-NO:

JP358125759A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 58125759 A

TITLE:

SURFACE-TREATMENT OF CARBON BLACK

PUBN-DATE:

July 26, 1983

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

TANIGUCHI, TAIZO FUJISAKI, TSUTOMU ISHIKAWA, MAKOTO OBA, JUN

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

TAIKO ROZAI KK N/A

APPL-NO:

JP57009253

APPL-DATE: January 21, 1982

INT-CL (IPC):

C09C001/56

US-CL-CURRENT: 106/472

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain carbon black powder having excellent redispersibility in water or in an aqueous medium and suitable as the pigment for water-based paint and ink, etc., by dispersing carbon black particles having specific average particle diameter in water using a surface active agent, removing the ultrafine particles from the dispersion, and drying the dispersion.

CONSTITUTION: For example, (A) 100pts.wt. of carbon black having an average particle diameter of ≥250mµ is dispersed in (B) 200pts.wt. of water using (C) 3pts.wt. of a surface active agent (e.g. condensed product of \beta-naphthalenesulfonic acid sodium salt and formaldehyde). The dispersion is centrifuged to remove ultrafine powders, and spray-dried at 100 ~ 180°C to obtain the objective carbon

COPYRIGHT: (C)1983,JPO&Japio

BEST AVAILABLE CON

BEST AVAILABLE COPY

(9) 日本国特許庁 (JP)

印特許出願公開

⁽¹⁾ 公開特許公報 (A)

昭58—125759

60 Int. Cl. 3 C 09 C 1/56

識別記号

庁内整理番号 7102-4 J

砂公開 昭和58年(1983)7月26日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 3 頁)

54カーボンブラックの表面処理方法

2144

B B57-9253

22出

■ 昭57(1982)1月21日

72克 明 者 谷口豪造

北九州市小倉廟区湯川 3 丁目 1

-41

72兒 明 青 蘇崎助

北九州市八幡西区大字本城赤坂

611 - 13

砂兒 明 者 石川誠

中間市大字中間79-196

發発 明 者 大場連

北九州市戸畑区浅生3丁目5--18

作出 職 人 大光炉材株式会社

北九州市戸畑区牧山新町1番1

4

74代 理 人 弁理士 藤井信行

1 P w + 2 M

カーゼングファクの画面の協力を

1. 一年的教徒での日本は上のカーボングラット のままな知道性的となるで分配的難した点。 の発行を発展した機能したとことを発展とす ものによってアントの製造的機力は、

5 # W * B # 9 # 40

本教的は年的政権と400m以上のカーボングで
「中華的政権を100mの101上のカーボングで
・のほのとするものは中華は全権的は、対する内
の教育の目的カルーボングラング的体を持るたと
これる。

 かった日)の少々いカーダンプラック的せどいった田ドロナサラ監督が展ではらかった。

サルで、手続列ではカーボングランタ連動が取得のようで、手続列ではカーマックンタもしくは利力品(サガル・スカを集くす)の10m以上)を使用し、スカを集くするでは単独のは新ためのである。

手段形でのドボングラントの平的設成をよりの PPは「F関定しを傾出は最初の難料形、リム用等 が伊州される」の知识とのカーボングランテでは 関節の影響を施しても、分割性は耐ましても満水 無は脚準とは変化しないためであり、単加を繋が 限定されそり、異晶度のカービングランテサスペ ンジョンを助性などませようとする場合にはそ分 を効果が開めれないからである。

本 発明で使用される様々 モン胃 お坊 性 町はまっと ファレント ペルンロン・グルル マリン 軸 台切。 ドアンルベンセンスルモンロン・グ、ビリカルセンロリアン 発剤性を繰り場合にはメーナフォレンスルホン酸塩系の界面活性剤が最も好ましい。 また発剤を伴う場合は各種の肉質剤を併用してもよい。

つぎに表面処理方法はカーボンブラックと界由 活性剤と水とをサンドミル、アトランター、ボー ルミル、コロイドミルなどの設式を対す分別に よつて安全に分別させたものを選心分離などの がよいでの がいプラックを除去し、スプレードライヤー、 ンドドライヤー、実空乾燥などの方法で乾燥して 粉末を得るものである。

半路門 :

平町校復25 1mpのカーボンブラフタ100部とターナフタレンスルモン間ソーダホルマリン間合物3部と水200部とをボールミルで10時間分析必用した時、遊心分離師にかけて超額分類にある。遊心分離師にかけて超額分別ではある。 ひの 日 100 で にてスプレー 気がすしての 間がまと称で。

* 篇例 Z

千両紀在ストロルのカーピンプラファトロロボ

(3)

23)のようだ。安徽教士で移られた即来は北韓教で移られた即来は北韓教 で移られた即来に比べて教教機能が確立いにもかからなるとの教育は小さい。

また、無効能のカーボンドラックはあえの分数 の非常に関係であり、新発度症むかにあてある。

等声的 無人

٠٠,

人名伊拉格尼西西

移動昭58-125759(2) と月ーナフォレンスルホンがソーダホルマリン町 分物3部と水200配とをコロイドもルにて3回

分散処理したのち、これをお向し100~130 でにて無風影響を打い処理的米を初た。

并收例

平均和後20mmのカーボンブラックを使用した 以外は実施例1と同じ条件で処理粉末を得た。 数考例

実施例1と比較例であられた粉末の自分散性を 評価するために二重円無額額を粘度計を使つて粘 医調定を行つた。その研究を無1次に示す。但し、 別体無限は実施例1のものか1.439/水1cc、 比較例のものが0.749/水1ccとする。

Al p (poise)

ズリ声和 (sec')	P 10 17 1	* 16 Pf 2	H. Be 199
10	1 >	1 5	4 5
3 0	• . 4	5.5	2 4

141

f h w / m (119)

04 M. S 7 & 2 #1 2 2 #1

1

1

2 R M O P. S.

カーチンプラックの意を映画を表

.

● 代 權 /

Y + 1 0 % 0 2 - 7 4 1 - 1 1 4 8

作品 (4007) 100年 10 月 日 日 千段上

5 to 4 or 21 to

明新者の発明の発表を設備の機

. w d. o. p. #

(II) 同無事事で自動での行用に「ン師のデニンスペルン領地」とあるを「ン師、リデニンスペルン印地」とあればします。

沿局昭58-125759(3)

(2) 同語の資語で行目に「安全」とあるを「完全」と独正致します。

(3) 阿勒5資幣4行目に「水之の」とあるを「水への」と雑正致します。

BEST AVAILABLE COPY